令和6年度 保健師職能委員会 活動報告

■委員名

委員長：吉村信恵

副委員長：菅 澄子

委員：西邑雅代・押場美穂・橋野富久子・斎藤美和・丸山ありさ・八幡眞美・千葉純子・吉田朝美
波田弥生・坪井裕子

■活動目標

1. 保健師の資質の向上を図るとともに保健師の専門性を追求する。
2. 行政・職域・医療・福祉等様々な分野で働く保健師の現状から課題の集約に努めるとともに、保健師間および看護職間のネットワーク化を図る。

■委員会開催状況と検討内容

回	開催日	出席者	内容
1	令和6年4月13日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・全国保健師職能委員長会の報告 ・令和6年度保健師職能委員会活動計画と役割分担について ・入会促進に向けた取り組み
2	令和6年5月11日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・新任期保健師交流会準備 ・令和7年度三職能合同集会テーマの検討 ・保健師職能委員会活動の振り返り
3	令和6年7月6日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師職能委員会の日程・活動計画・役割分担について
4	令和6年8月28日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな看護の将来ビジョンへの意見についてについて ・新任期保健師交流会について ・産業分野と行政等保健師交流会について
5	令和6年9月7日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師職能交流会について ・新任期保健師交流会について ・産業分野と行政等保健師交流会について
6	令和6年9月7日	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師職能交流会について助産師職能委員との打ち合わせ
7	令和6年10月5日	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・全国保健師職能委員長会の報告 ・新任期保健交流会の報告・評価 ・保健師助産師交流会の進捗状況報告 ・産業分野と行政等保健師交流会について ・地区別職能委員長会の報告① ・保健師の人材確保・定着と定着のための人材育成について ・保健師活動におけるDX化について
8	令和6年11月2日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別職能委員長会の報告② ・理事会報告 ・令和7年度の活動計画について ・保健師職能の活動方針について ・産業分野と行政等保健師交流会について ・保健師助産師交流会の準備
9	令和7年2月8日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師交流会について ・令和7年度委員会活動計画について

10	令和7年3月22日	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・全国職能委員長会報告 ・令和6年年度交流会の評価と課題の共有 ・令和7年度活動計画の日程調整
----	-----------	----	---

<p>■活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師助産師看護師合同職能集会 日 時：令和6年6月20日 9：30～12：00 場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） 内 容：令和5年度保健師職能委員会活動報告 令和6年度保健師職能委員会活動計画 基調講演 テーマ：中堅看護師を支える・育てる“コツ”と効果的な関わり方 講 師：愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター 助教 内藤知佐子 氏 参加者：268名（会場 119名 オンライン 149名） 2. 保健師助産師看護師・支部合同交流会（悪天候により中止） 日 時：令和6年8月31日 13：30～16：00 場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） テーマ：「看護職のためのアンガーマネジメント」 ～私たちの感情コントロールで職場を変えよう～ 講 師：横浜市立大学医学部看護学科 田辺有理子 氏 3. 新任保健師交流研修会 日 時：令和6年9月7日 13：30～16：00 場 所：兵庫県看護協会会館 テーマ：「話し合おう！入職してから感じること 語り合おう！身近な事例」 内 容：実践力UP 事例検討会と交流 参加者：19名 4. 産業保健分野と行政等で働く保健師の交流会 日 時：令和6年11月30日 13：30～15：40 場 所：兵庫県看護協会会館 内 容：産業保健分野と行政から業務紹介、産業保健分野の事例共有と交流 参加者：25名 5. 保健師助産師交流会 日 時：令和7年2月8日 13：30～16：30 場 所：兵庫県看護協会会館 テーマ：「助産師と保健師の協働で紡ぐ健康な未来 ～プレコンセプションケアから考える～」 講 師：公益社団法人小さないのちのドア 代表理事 永原郁子 氏 参加者：31名
<p>■活動の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師の資質の向上を図ると共に保健師の専門性を追求する。 合同職能集会では、三職能ともに課題と感じている「中堅看護師を支える・育てるための“コツ”と効果的な関わり方」をテーマに内藤千佐子氏に講演いただいた。年代を4つの世代に区分し、各世代の価値判断基準を知った上で、中堅期看護師が抱える課題とやる気の素を引き出すコツを学んだ。今は「報・連・相」より「雑・草（雑談と相談）」が大事、お互いが歩み寄りインクルージョンの組織づくりが必要。

そして何より、次世代のリーダーを育てる管理職自身が楽しそうに働くことが大切である。講演は、ZOOM を使って♥スタンプや書き込みができる参加型で、笑いあふれる元気が出る講演会となった。

新任期保健師交流研修会（入職後5年以内）では、新任期保健師に、日頃の不安や悩み等を語ることにより、組織を超えた横のつながりの機会を提供し、また、事例検討を通じてアセスメント力の向上を図ることをねらいとした交流会を実施した。

事例検討には、日本看護協会が作成した実践力UP事例検討会を取り入れた。新任期保健師から事例提供をしてもらい、グラドルール（事例はみんなで考え全員が発言する、誰かを責める会にしない、人の話はさげざらない、事例提供者の支援内容の否定/批難しない、ファシリテーターの指名には応える、事例提供者をねぎらう）のもと、参加者が意見を言いやすい雰囲気を作るようにした。

アンケートからは、「アセスメントの視点や情報整理の方法が、特に活かせると思った」、「改めて精神面・社会面からアセスメントする重要性を確認できた」、「特定保健指導を行う中で、本人の生活状況を聞くことは意識していたが、家族状況やその人を取り巻く環境を知ることの大切さが分かった」、「行政の保健師がどういった役割を担っているか具体的に知ることができた」といった声が聞かれた。参加者からは高評価であったが、参加までのハードル（休日・現地開催）が高いようである。

また、地区別職能委員長会に向けて、委員の所属している自治体や企業での人材の確保・定着等について情報交換を実施した。プリセプター・トレーナー保健師の活用、人材育成ガイドラインの改正、行政職員としての面接と合わせてラダー面接を実施等報告された。

保健師活動におけるDX化についての情報共有では、書かない窓口や、ルーチン業務は効率化、共通化する方向へ。電話対応記録に試行的にAIを導入。保健師記録の電子化。DXチームの配置等が挙げられた。

令和7年度は、保健師活動指針の改正に伴う保健師の専門性について意見集約をしていく。

2. 行政・職域・医療・福祉・介護等様々な分野で働く保健師の現状から課題の集約に努めるとともに、保健師間および看護職間のネットワーク化を図る。

産業保健分野と行政等で働く保健師の交流会では、お互いの仕事を知る機会となった。行政の保健師は、働く世代の健康問題について関わるのが難しいとの思いがあるが、産業分野の保健師から、アルコール依存症の従業員について保健所に相談し、断酒会につながったという事例報告があった。産業分野と行政の保健師が、連携して支援を行った事例の紹介があったことで、地域ごとの交流の必要性が課題として挙げられた。保健師間の交流を望む声が多かった。

保健師助産師交流会では、永原講師の困っている妊産婦への支援の理念、対象に対するぶれない心に感動するとともに、具体的なプレコンセプションケアの紹介があり、今後、自施設で何ができるか何をしていかないといけないのかを考える機会となった。交流会では、自身の業務では把握できないことを知ることができ、助産師と保健師は互いに補完しあってこそ地域の母子保健の現状がつかめる、職種・地域を超えての話し合いが有意義との声があった。

令和7年度交流会については、保健師助産師交流会を継続し、保健師間の交流は、分野を特定せず実施する。保健師間の交流会や委員会で課題の集約をしていく。

■今後の課題

- ・保健師活動指針の改正に伴う保健師の専門性を追求する。
- ・様々な分野で働く保健師間の交流を実施し、課題を集約していく。
- ・助産師職能と連携した母子のための安全・安心な地域包括ケアシステムを推進する。
- ・三職能合同で実施する職能集会、交流会を通して、各職能の活動を理解し看護職間の連携を深める。